

2026 年度 社会福祉法人愛和会 事業計画書

はじめに

2026 年度、社会福祉法人愛和会は愛仁会グループの一員として、「淘汰の時代」においても地域に根ざした福祉の担い手としての使命を果たし、利用者・家族・地域・職員との対話を深めながら、持続可能な福祉サービスの提供と新たな価値創造に取り組む。

法人全体の基本方針
地域包括ケアの深化と地域貢献の強化
持続可能な経営基盤の確立
人材育成と働きがいのある職場づくり

第 1 章 愛和会宝塚地区

1. 基本方針

宝塚地区は開設 25 周年を経て新たな発展段階へ移行する。2025 年度末にあいわクリニックが閉院することに伴い、利用者および職員の健康管理体制の再構築が必要となるが、新たな医療連携体制を早期に整備し、利用者満足度と職員満足度の維持・向上を図る。特養宝塚あいわ苑、あいわ結愛ガーデン、Waiwai コミュニティあいわ、なかよし保育園、中筋児童館が連携する複合施設としての強みを生かし、地域福祉の推進に取り組む。

2. 重点施策

区分	主な取組
施設経営の健全化	中期事業戦略の実行管理、KPI 達成を踏まえた運営、新規利用者獲得、収益性改善、在宅サービス機能強化、感染症対策の徹底
介護機能の強化	臨時介護報酬改定への対応、ICT 機器の導入・活用、新体制による医療サービス提供、電子化運用の PDCA 確立
働きやすい職場環境づくり	労働安全衛生委員会主導の職場環境改善、ハラスメント対策の推進
人材確保・育成	技能実習生受入体制整備、キャリア・アンカーを活用したキャリア形成支援、学会・研修会参画促進
施設整備	建物・設備の老朽化対策、大規模修繕計画の策定
地域連携	医療機関・介護事業者との連携強化、地域活動への主体的参画、地域支援および協働活動の推進

3. 目標

- 新規利用者の確保
- 事業利益の確保
- 安定した医療提供体制の構築
- 職員および利用者満足度の向上
- 地域連携の強化
- 大規模修繕計画の策定と実施準備

第 2 章 愛和会豊中地区

1. 基本方針

豊中地区は「地域を世界と未来につなぐ」をコンセプトに、高齢者、障がい者、児童などあらゆる世代が安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指す。人材育成、地域包括ケア、経営基盤強化を柱として、地域ニーズに即した質の高いサービスを提供する。

2. 重点施策

区分	主な取組
人材育成と働きがいのある職場づくり	要員計画と定員管理、定着支援、キャリアラダー運用、研修体系整備、OJT標準化、採用活動強化、エンゲージメント向上、適材適所配置、コンプライアンス・ハラスメント対応強化
地域包括ケアと地域貢献	医療・行政・他法人との連携強化、地域貢献活動の見える化と情報発信、DX 推進による業務改善
サービス品質向上	報酬改定対応、加算管理、新規事業企画、委託事業の質向上、関係機関連携、各種福祉計画に沿った重点施策推進
持続可能な経営基盤整備	建物・設備の老朽化対策、中長期修繕計画、稼働率向上、収支改善、補助金・寄附等の活用

3. 目標

- 月次人員管理体制の構築
- 離職予防と職員定着率向上
- キャリア形成の可視化
- 地域連携ネットワークの強化
- DX による業務効率向上
- 新規事業の試行開始
- 修繕計画の着実な推進
- 月次収支改善サイクルの定着
-

第 3 章 愛和会高槻地区

1. 基本方針

高槻地区では、グループホームおよびケアハウスにおいて高稼働率を維持しながら看取り対応や医療連携を強化し、安心できる介護環境を実現する。また、高槻あいわ保育園では「自分で考え行動する力」を育む保育を推進し、安全管理と安定運営を図る。ICT 活用による業務効率化、職員負担軽減、人材確保にも継続して取り組む。

2. 重点施策

区分	主な取組
経営管理	ケアハウス・グループホームの利用者確保、安定稼働による収益確保、感染防止および予防対策の徹底
人的資源管理	保育職員の専門性向上、保育キャリアラダー運用、働きやすい職場環境の

	提供、人材定着施策の推進
地域貢献	高槻あいわの認知度向上、地域への情報発信強化、地域ブランドの確立
人材育成	職員のキャリアアップ支援、資格取得支援、介護キャリアラダーの実践

3. 目標

- ケアハウスおよびグループホームの満床稼働
- 園児定員の安定確保
- クラスタ発生ゼロ
- 保育および介護の専門性向上
- 職員定着率向上
- 地域での認知度向上

第 4 章 愛和会本部

1. 基本方針

本部は法人全体の持続的発展を支える司令塔として、経営基盤強化、人材確保、事業再編、生産性向上を推進する。また、各地区への伴走支援を行いながら、収益確保と将来の施設整備を見据えた資金計画を推進する。

2. 重点施策

区分	主な取組
高稼働維持戦略	新規利用者確保に向けた営業活動、広報戦略強化、入所受入基準の整理・共有、加算算定管理による単価向上
財務戦略	予算管理・実績管理の徹底、計画的資金調達の検討、修繕積立金の有効活用、将来修繕に向けた資金確保
人材確保・育成戦略	新卒・中途・外国人人材の確保、リーダーおよび管理職候補育成、適正配置による組織活性化
事業再編・新規事業支援	豊中地区における新規事業支援、既存事業の見直し、宝塚地区のクリニック閉所後支援、跡地利用計画の推進
生産性向上戦略	Copilot 活用によるケアプラン作成支援、ケアプランデータ連携システム導入、見守り機器導入、介護 DX 推進

3. 目標

- 新規利用者獲得による高稼働率維持
- 償却前経常利益目標の達成
- 人員不足による稼働低下の防止
- 管理職・リーダー人材の育成
- 各地区の事業再編支援
- DX による生産性向上

第 5 章 法人全体の重点課題

2026 年度の愛和会全体に共通する重点課題は、次の 5 項目である。

重点課題	取組の方向性
経営基盤の強化	高稼働率の維持、収益向上、加算算定の適正化、計画的な資金確保により持続可能な経営基盤を構築する。
人材確保・育成	採用力強化、離職防止、キャリアラダー運用、管理職育成を通じて人材不足への対応を図る。
地域包括ケアと地域貢献	医療・行政・他法人との連携を強化し、地域共生社会の実現に向けた取組を推進する。
DX・業務効率化	ICT、介護 DX、Copilot 活用、データ連携システムの導入を通じて業務効率化とサービス品質向上を実現する。
施設整備と事業継続	老朽化する建物・設備への対応、大規模修繕計画の推進、事業再編や新規事業の検討を進め、将来にわたり安定した事業運営を目指す。